

令和8年7月6日

小中学生の皆さんへ

常滑市教育委員会教育長
土方宗広

「第36回 常滑市小中学生創意工夫展」作品募集のご案内

創意工夫展の作品を下記のように募集します。今回も、応募いただいた全ての作品の展示会を開催します。また、入賞者には賞状・盾・賞品があるほか、入賞者以外にも参加賞があります。夏休みを利用して応募してみませんか。

記

1. 内容

(1) 科学作品部門

○科学的な考えに立って、アイデアを生かして創意工夫した模型作品

創意工夫とは、身の回りで困っていることに目を向け、それを解決するためにどうしたらよいかを考えることです。テーマを決めてその解決に向けて創意工夫した作品作りに挑戦してみましょう。自由作品も構いません。

テーマ <例>	「お家の人の家事を楽にするもの」「家族の介護に便利なもの」 「もっと使いやすい文房具」「身近なもので作る楽しいおもちゃ」など
------------	---

(2) 科学研究部門

○自然や科学についてのテーマで調べたことをまとめたもの

遊んでいたり、勉強したりしているときに、ふと不思議に思ったことはありませんか。もっと調べてみたいと思ったことはありませんか。お家の人の話や図鑑を見て興味を持ったことはありませんか。テーマを見つけて研究を進めてまとめてみましょう。

テーマの 見つけ方 <例>	・日常生活でふと疑問に思ったことを調べる研究 ・学校で勉強したことをもっと深める研究 ・「お家の人から聞いた話」の内容を研究 ・科学雑誌や図鑑から興味をもったことを研究 ・自分の興味・関心のあることや趣味をいかした研究
---------------------	---

※小学生の皆さんは、「夏休みの友」の巻末にあるチャレンジコーナー(自由研究)も参考にしてください。

2. 応募対象者

- ・市内小学校1～6年生
- ・市内中学校1～3年生

3. 提出方法・作品展について

昨年から場所、期間などに変更がありますので、ご注意ください。

- ① 提出日時・場所 応募作品の見学も可
 日時：8月23日（日）～24日（月） 9：00～16：00
 場所：市役所1階会議室F・G

市役所1階会議室F・Gへご持参ください。「創意工夫展作品応募票」も作成し、作品と一緒に提出してください。

- ② 展示日時・場所 応募のあった全作品の展示
 日時：8月25日（火）～30日（日） 9：00～16：00
 25日（火）は午後のみ、30日（日）は正午まで
 場所：市役所1階会議室F・G

- ③ 返却
 日時：8月30日（日） 12：00～16：00
 31日（月） 9：00～16：00
 場所：市役所1階会議室F・G

市役所1階会議室F・Gにお越しくください。作品を市役所内で保管することが困難であるため、8月31日16時時点で残っている作品は当日に処分します。

日	月	火	水	木	金	土
8/23 提出 9:00～16:00	24 提出 9:00～16:00	25	26	27	28	29
		展示期間 9：00～16：00 25日は午後のみ、30日は正午まで				
30	31					
返却 30日 12：00～16：00 31日 9：00～16：00						

4. その他

- ・お一人で2点（各部門1点ずつ）まで応募することが可能です。
- ・入賞作品は『令和8年度常滑市小中学生創意工夫展作品集』に掲載します。作品集は市のホームページに掲載する予定です。
- ・入賞作品には部門ごとに、賞（石田退三科学賞・優秀賞）があります。石田退三科学賞は、賞状、盾、賞品（図書券5千円）、優秀賞は、賞状、賞品（図書券2千円）です。入賞者以外のすべての応募者に参加賞があります。
- ・創意工夫展は、常滑市出身の故石田退三氏（元トヨタ自動車社長）の「資源の少ない日本の将来のためには、若い人たちの知恵を生かしていかなければならない」という遺志をうけて、石田退三記念財団からの寄付をもとに実施している作品展です。

《問い合わせ先》

常滑市教育委員会 学校教育課（TEL:0569-47-6129）

<作品の応募にあたって>

市役所へ作品を提出する際に、応募票を添付して提出してください。
応募票は印刷したチラシの下を切り取ってご利用ください。応募票の貼り方は次の例を参考に、作品とともに見える場所へ、のりやセロテープなどではがれないように貼ってください。

応募票が作品展での名札となります。また、入賞作品に選ばれた場合は、応募票の記載内容が入賞作品集に掲載されます。

【貼り方の例】

作品の下部へ
貼り付け OK！

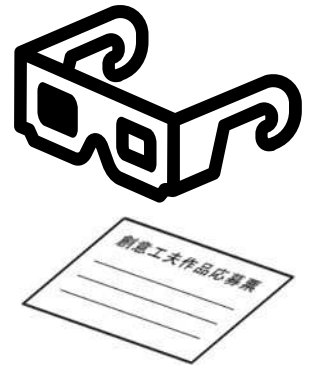


作品へ直接
貼り付け OK！



貼る所がない場合
貼り付けずに提出 OK！

※作品展の展示机に貼るので、
応募票も必ず持ってきてください。



創意工夫展作品応募について

科学作品部門

勉強道具、遊び道具、家庭生活用品など身のまわりには、いろいろな道具があります。でも、使っていて「なんだか大変だ」「こうなったらもっとおもしろいのに」と思ったことはありませんか？そこで、もっと便利に、楽しくなるようにアイデアを出したり、工夫したりした作品が科学作品なのです。

1 どんなところにアイデアや工夫のもとがあるかな？

どうしてもアイデアが見つからないという人は、次の5つに当てはまることのないか、もう一度身のまわりを見てみよう。

- (1) 文房具などで、面倒くさい・手間がかかるものが便利にならないかな？
- (2) 掃除道具や台所用品などで、お家の人が使っている道具がもっと楽に使えるようにならないかな？
- (3) 普段捨ててしまっている物を工夫して、別の使い方ができないかな？
- (4) 身近なものを使って、おもしろい動きや楽しく遊べるおもちゃやゲームはできないかな？
- (5) 公園や駅、道路にあるものが、小さな子や体に障がいがある人でも、安全に使えたり、喜んで使えたりするようにならないかな？

2 アイデアや工夫の仕方

何となくアイデアは見つけたけど、どのように作品にしたらいいのかわからない…という人は、次の4つの工夫の仕方、作品をもっと詳しく考えていこう。

- (1) 面倒なこと・手間がかかるものを楽にしてみよう
 - ・ 2回、3回とやらないとできないものをスイッチ1つでできるようにする。
 - ・ 折りたたんだり、簡単に組み立てたりできるようにして、楽にしまったり、運んだりできるようにする。
 - ・ 簡単には見えないものを、すぐに見えるようにする。
- (2) おもしろいおもちゃやゲームを作ろう
 - ・ 理科や技術の授業で勉強したことを使って、おもしろい遊びを工夫する。
 - ・ 昔からあるおもちゃをもっと楽しく動くように工夫する。

- ・磁石や輪ゴムなど身近なものを使って、楽しく動くように工夫する。

(3) リサイクルしよう

- ・ペットボトルやカップなどを切ったり重ねたりして、別の使い方ができないか工夫する。

(4) 安全に使えるものを作ろう

- ・町にある標識や信号が、小さな子どもでも障がいがある人でもわかりやすく、気づきやすくなるように工夫する。

3 製作の順序

(1) アイデアスケッチをしよう

ふと思いついたアイデアは、忘れないうちに絵や図にスケッチしておこう。お家の人や先生に相談したり、本などで調べたりすると、いろいろなアイデアがでてきて、アイデアスケッチがたくさんできるよ。

(2) どんなふうにするかという考えを絵や図にかこう

「こんなものを作りたいな」と頭の中で考えているだけでは、はっきりしないので、どうするかを絵や図にかこう。絵や図にかくと、今まで自分で気がつかなかった新しいアイデアがうかんでくるよ。

(3) 材料を決めよう

使えるものを作るなら、それにあった材料が必要です。お家の人に相談しよう。また、捨てるものを使うなどの工夫もしよう。

(4) 製作しよう

どのような順番で作ると無駄なくできるか考えて作っていきこう。色を塗ったり、つるつるにしたりして、見た人が使ってみたくなるような作品に仕上げよう。

(5) 後片付けをしっかりとやろう

「後片付けは最良の準備なり」といいます。製作が終わったときだけでなく、途中でやめて明日続きをやる時も、きちんと片付けておきましょう。

(6) まとめと反省

苦労したところ、うまくできたところ、できなかったところなどをしっかりと反省し、次の製作に活かせるようにしておこう。

科学研究部門

みなさんは、毎日の生活の中で「おや?」「なぜ?」と思ったことはありませんか。夕方に、西を向いていたヒマワリの花は、朝になると東を向いています。夜のうちにどう動いたのでしょうか。走っている車のタイヤを見ていると、時々逆回転をして見えることはありませんか。なぜでしょう。こんなちょっとした疑問を抱くことが研究の第1歩です。そして、その理由を友だちや両親に聞いたり、図鑑やインターネットで調べたりすれば、すでに研究が始まっているのです。さらに、分かったことをノートに記入したり、図鑑やインターネットの資料を貼ったりしてまとめれば、立派な研究といえるのです。「えーっ!そんな簡単でいいの」と思うかもしれませんが、研究をそんなに難しく考えないでほしいのです。

1 研究テーマの見つけ方

家や庭で遊んだり、勉強しているときに、ふと不思議に思ったことはありませんか。学校で勉強したことで、もっと深めたいと思ったことはありませんか。お家の人のおもしろい話や、図鑑を見ていて興味を持ったことはありませんか。研究を始めるきっかけは、ほんのちょっとしたことからよいのです。

- (1) 日常生活でふと疑問に思ったことを調べる研究
 - ・氷をコップの中のジュースに入れたとき、なぜ「びしっ」と音がするの?
- (2) 学校で勉強したことをもっと深める研究
 - ・天気勉強をしたけど、雲の種類と天気にはどのような関係があるの?
- (3) 「おばあちゃんから聞いた話」の内容を研究
 - ・「おひさまにかさがかかると明日は晴れ」っていうけど、どうして?
- (4) 科学雑誌や図鑑から興味をもったことを研究
 - ・図鑑を見ていたら、カタツムリの動きについて調べてみたくなった。
- (5) 自分の興味・関心のあることや趣味を生かした研究
 - ・ケーキづくりが大好きだから、どうしたらふっくらやわらかなスポンジケーキを作れるのか研究してみよう。
- (6) 今まであった研究をもう一度自分なりに違う方法で追究した研究
 - ・殻がむきやすいゆで卵の研究があるけど、他の方法でもむきやすくできないか調べてみよう。

2 研究の進め方

- (1) 研究する前に、「どんなことが不思議なのか」「何について調べるのか」などの研究の目的をはっきりさせる。
- (2) 調べる前に、自分なりにどうなるか予想する。
- (3) どのように研究を進めるか簡単な計画を立てる。
 - ① どのような実験や観察をするかを定める。
 - ② どのような道具や材料を使うか決める。
 - ③ どのような順番で研究を進めるか決める。
- (4) 実験や観察をとおして、計画したとおりに研究する。
 - ① 1つ（1回）だけでなく、いくつも（何回も）調べる。
 - ② 事実と自分の考えを区別する。
 - ③ 比較する実験では、調べたいこと以外の条件は同じにする。
 - ④ 新しいことが分かったら、研究の計画を変更したり、修正したりする。
 - ⑤ 実験や観察の結果はしっかりと写真やノートなどに記録する。

3 研究のまとめ方

一生懸命、研究したことは、他の人に見てもらうために分かりやすくまとめよう。

- (1) 分かりやすくまとめるにはどうしたらよいかを考えよう。
- (2) 絵や写真、グラフなどを使ってみよう。
- (3) 実験や観察したことは、整理して分かりやすく書こう。
- (4) 実験や観察で分かったことと、自分の考えは区別して書こう。

まとめ方の手順

①研究をしようと思ったわけ

②研究の進め方

- ・どのように調べるのか、その方法
- ・いつ、どこで、どのように観察や実験をしたか

③研究の結果（分かったこと、もっと調べてみたいこと）

④研究のまとめ